

富士川町農林業体験宿泊交流施設

「平林たはたの宿」施設のご案内

1. 平林地区の概要

富士川町の西部に位置する標高 700mから 800mに立地する平林地区は、昭和 25 年には、1,000 人を超えていた人口が、令和 4 年 4 月 1 日には、223 人（町全体 14,409 人）まで減少し、高齢化率も 47.5%（町全体 34.7%）となっています。

かつては、水稻、養蚕を主体とした農業のほか、スギやヒノキの育苗、臼や梯子等の木工品製造などにより、生計を立てている方が多く、昭和 30 年代後半から、この地区の立地・気候条件に適した夏秋トマトの栽培が行われ、県内有数のトマト産地となりました。

現在では、主に水稻、トマトや大根などが栽培され、町内でも比較的農業が盛んな中山間地域です。

地区の背後には楡形山が控え、集落には日本の農村の原風景ともいえる棚田が広がっており、この地区から望む富士山と棚田は絶好の被写体であることから、県内外から多くのカメラマンや観光客が訪れ、富士山を眺める棚田として、令和 3 年には、「農林水産省の指定棚田地域」に指定され、令和 4 年には、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の全国 271 箇所の棚田の一として、選定され観光資源が多い地区です。

こうした美しい農村景観から、芸術家の故池田満寿夫氏が窯元を置き、その窯には、現在も大勢のみなさまが芸術活動に訪れており、この地区に魅せられ、都会からの移住者が多い地区でもあります。

平成 14 年に人口減少による過疎化や耕作放棄地の増加の抑制策として、平林交流の里「みさき耕舎」をオープンし、地区で収穫された農産物等の販売、地区で収穫された野菜を使った食事の提供、そば打ちの体験を行って参りました。農地を利用した取り組みとしては、ジャガイモと大根のオーナー制度や収穫体験、棚田オーナー制度などの地域の特色を生かした農業体験制度を取り入れ、特産品のブランド化、都市住民との交流の場の提供、地元農家の生産意欲の向上、地産地消に取り組んできました。

みさき耕舎の運営を行っている平林活性化組合は、地区全戸が構成員として組織され、地区の盆踊りや運動会等の全戸を対象としたイベントを精力的に行い、地区全員での地域活性化に取り組んでいます。

2. 「平林たはたの宿」ができるまで

平成 27 年 3 月には、在籍する児童の減少に歯止めがかからず、地区の拠点でもあった「増穂西小学校」は閉校となったことで、その後の活用策が地区の課題となっていました。

平林地区では、さまざま農業体験を行っていましたが、年間を通じて利用できる宿泊施設がないことから、平林地区の特徴を活かした農林業体験を通して、この地区に滞在していただき、里山の四季の移ろいや平林の棚田などの豊かな自然環境、歴史文化といった平林地区の魅力を堪能していただける場をつくることを目的として、このたび農林業体験宿泊交流施設「平林たはたの宿」を建設し、運営することとなりました。

宿泊棟の名称は、この地区が林業も盛んであったことから、平林の地区にゆかりのある樹木の名称から名付け、宿泊施設の施設名の表示は、増穂西小学校の校舎で使っていた木材で制作しました。

施設名・樹木名	名付けた理由
くろべ (A-1) おおすぎ (B-1)	平林地区「氷室（ひむろ）神社」付近に多く植林されている樹木です。
さくら (A-2)	富士川町では、日本さくら名所 100 選に選定されている「大法師（おおぼし）公園」の桜が有名ですが、増穂西小学校（当時）の敷地だったこともあり、今もなお敷地内に植樹されています。
あすなろ (B-2)	あすなろは、樹木の名称ですが、「明日は、～なろう」に掛け、向上心を比喻した表現として、増穂西小学校（当時）の通信簿の名称として使われていました。

お越しになられたみなさまが、こちらでの宿泊を通して、夜は満天の星空と甲府盆地の夜景や、富士山の夕焼け、朝焼けなどの絶景を体感していただき、農業体験等で収穫された食材での自炊や田舎暮らしを満喫し、みさき耕舎での季節の田舎料理を堪能していただきたいと考えています。

3. 交通アクセス

1. 自動車をご利用の場合

■東京方面から



- 調布 IC から、富士川町まで約 110 分

■名古屋方面から



- 名古屋 IC から、富士川町役場まで約 180 分



- 富士川町役場から、みさき耕舎・平林たはたの宿まで約 15 分

2. 電車をご利用の場合

■東京方面から



- 新宿駅から、市川大門駅まで約 130 分

■名古屋方面から

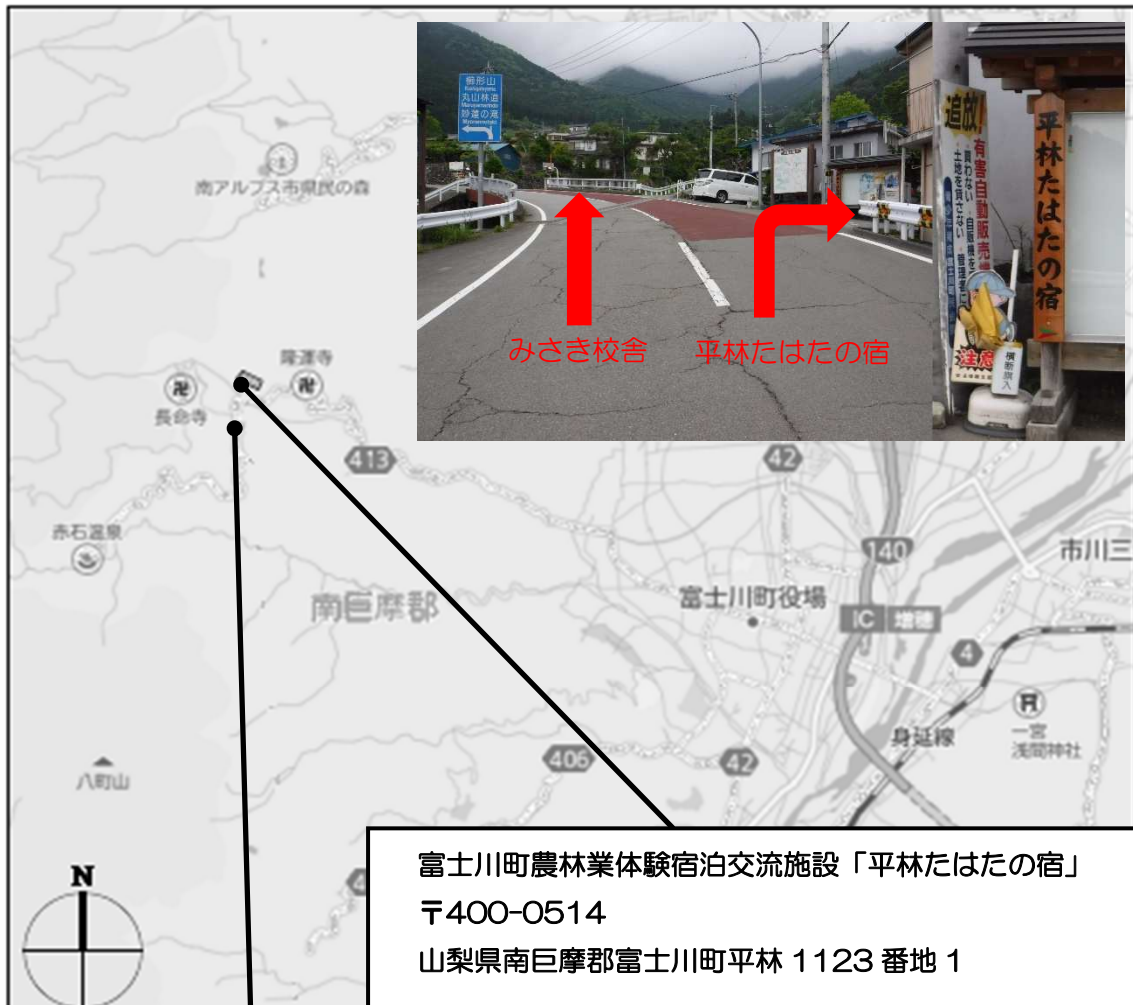


- 静岡駅から、市川大門駅まで約 115 分

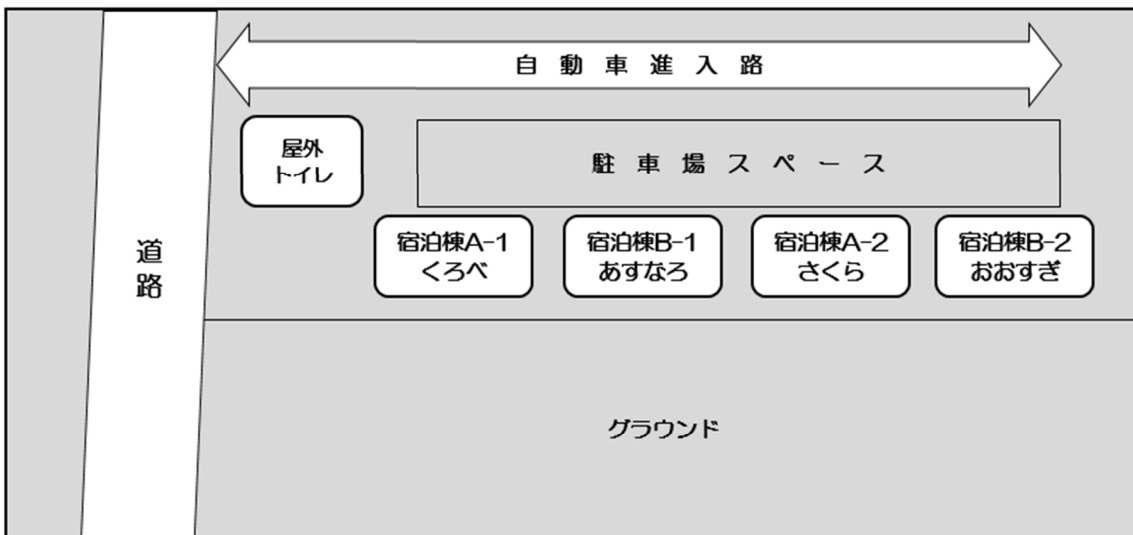


- 市川大門駅から、みさき耕舎・平林たはたの宿まで約 20 分

4. 「平林たはたの宿」「みさき耕舎」位置図・配置図

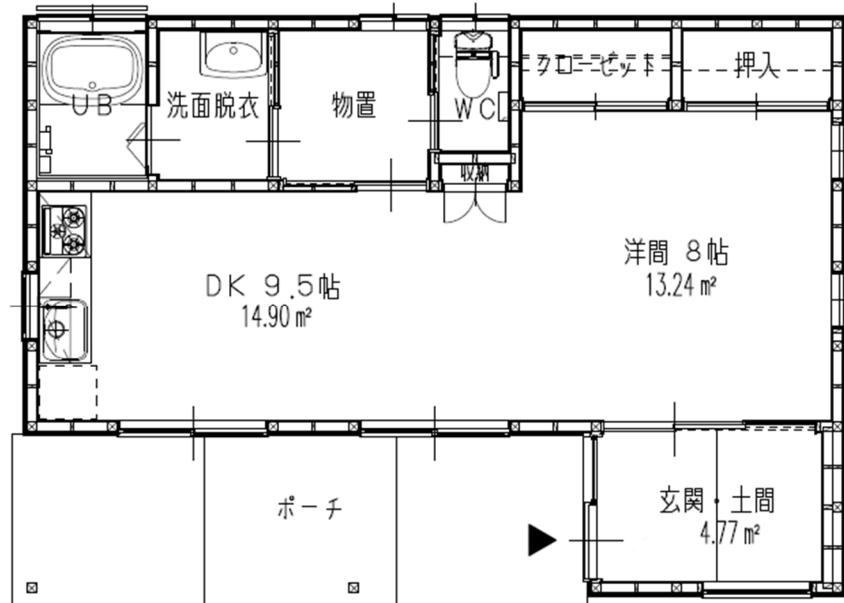


平林交流の里「みさき耕舎」
〒400-0514 山梨県南巨摩郡富士川町平林 2335 番地 1

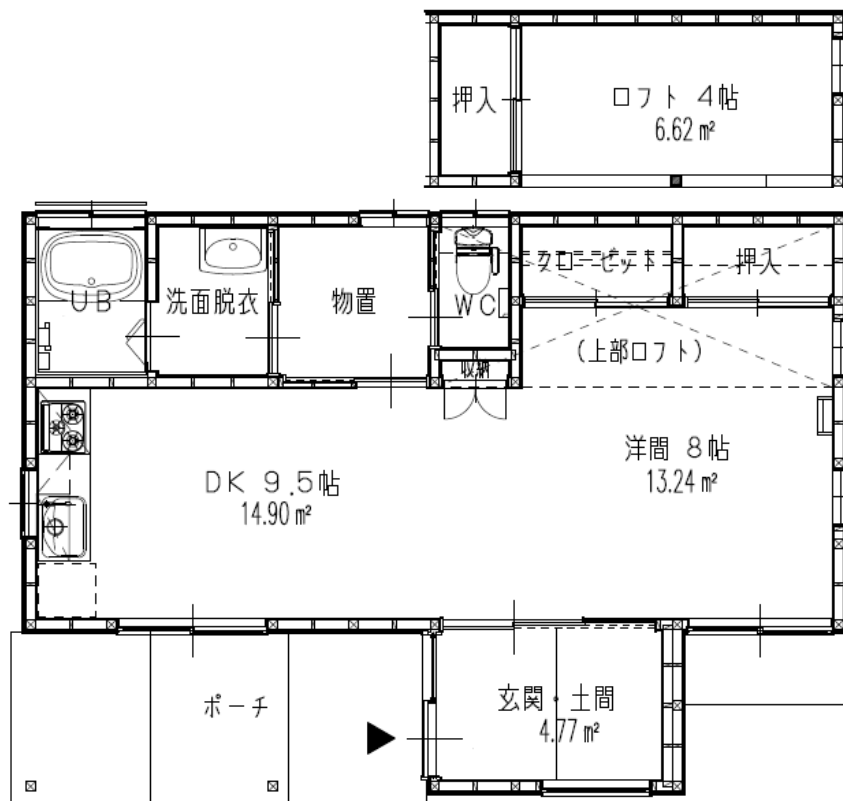


5. 「平林たはたの宿」間取り

宿泊棟 A・ロフトなし (A-1 くろべ・A-2 さくら)



宿泊棟 B・ロフトあり (B-1 あすなろ・B-2 おおすぎ)



6. 「平林たはたの宿」施設外観



↑ ロフトなし1



↑ ロフトなし2



↑ ロフトあり1



↑ ロフトあり2



↑ 駐車場



↑ 屋外トイレ

7. 「平林たはたの宿」施設内覧



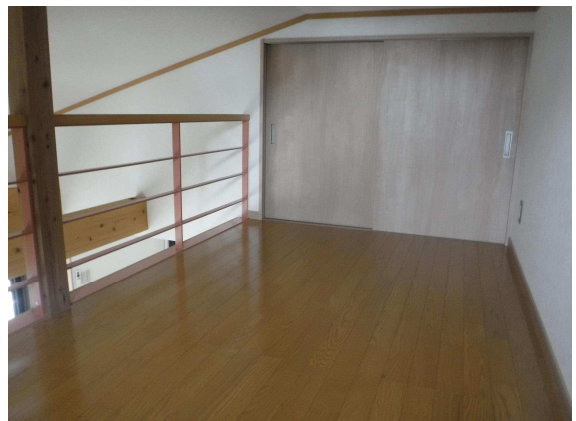
↑ 玄関



↑ リビング (ロフトなし)



↑ リビング (ロフトあり)



↑ ロフト



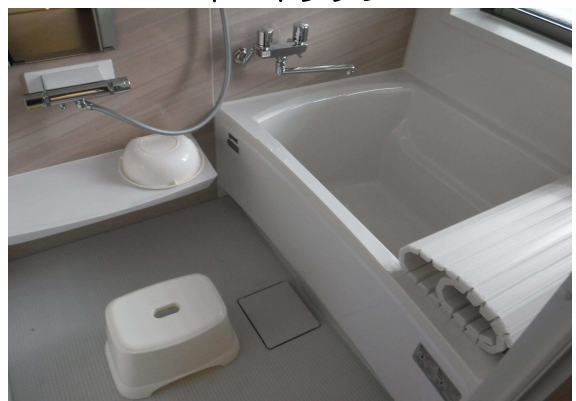
↑ ダイニング



↑ キッチン



↑ トイレ



↑ バス